

## 瀬谷区の子どもたちの「やる気」と「学び」のいま

### ～令和7年度 学習意欲等に関する調査報告書より～

(一社)横浜すばいすは、子どもたちが「自ら課題を立て、解決に向けて情報を集め、話し合う力」を育むことを指標にして放課後学習支援に努めています。保護者の皆様に、今回の調査から見えてきた、お子様の成長を支えるためのヒントをお届けします。

#### 1. 調査結果：指標を達成！

- 第6年生の34.8%が「自分たちで課題を立てて解決に取り組んでいる」と回答しました。これは目標値(30.0%)を上回る素晴らしい結果です。
- 一方で、学年が上がるにつれて学習意欲が低下する傾向も見られます。この変化にどう寄り添うかが今後の鍵となります。

#### 2. 子どもの成長を支える「ナナメの関係」

- 子どもにとって、親や先生以外の大人や異学年の友だちといった「ナナメの関係」が、安心感ややる気を引き出す重要な役割を果たします。
- 調査では、子どもたちが「あんな風になりたい」と思える「モデル(憧れる人)」が身近に少ないという課題も浮き彫りになりました。地域のイベントや放課後学習支援教室などを通じ、多様な大人や年上の子とふれ合う機会を大切にしましょう。

#### 3. これからの学びと生成AI(人工知能)の活用

- これからの時代、生成AIは学びの強力なパートナーになります。
- 生成AIは「新しい視点を提供してくれる存在」として活用できます。
- 大切なのは、大人が最初から否定するのではなく、「まずはやってみる」という姿勢を価値付け、一緒に試行錯誤することです。

#### 4. 家庭でできる「学びの習慣化」のコツ

- 「自学(宿題)」のルーティン化：「じがくノート」などを活用し、毎日1ページ、決まった時間に学習する習慣を応援しましょう。
- 失敗を笑顔で受け入れる：子どもが失敗しても、大人が次の成功に向けて共に考える姿勢を示すことで、子どもの「やり抜く力」が育ちます。
- 「読み聞かせ」の継続：伝記などの読み聞かせを通して、憧れの対象(モデル)を見つけるきっかけ作りも有効です。是非、読書が好きな子に！

---

瀬谷区では、各小学校で「放課後学習支援教室」を開催しています！地域のボランティアや教職経験者などが「学習アドバイザー」として、お子様の「よさ」を伸ばすお手伝いをしています。ぜひご活用ください。

---

このチラシは「令和7年度 瀬谷区小学生の学習意欲等の習得に係る調査研究報告書 No.2」の内容を基に作成されました。

# 瀬谷区小学生の学習意欲向上プロジェクト：地域とAIで育む「自ら学ぶ力」

現状の成果と浮き彫りになった課題



令和7年度の目標値30.0%を上回り、子供たちの自律的な学習姿勢に成果が見られました。

## 2026年度に向けた解決アプローチ

「斜めの関係」による  
地域支援の強化



親や先生以外の大人(アドバイザー)が、子供の失敗を肯定し伴走する環境を作ります。

生成AIを「新しい視点の  
提供者」として活用



AIが得意とする「情報収集」や「遊び相手」の役割で、子供の知的好奇心を補完します。

「自学ノート」による  
学習習慣の確立



毎日1ページ、自ら目標と振り返りを書く習慣を家庭・地域・学校が連携して支えます。

高学年における学習意欲の低下傾向



第4学年以降、日常生活における学習意識が横浜市平均を下回る傾向が確認されました。

「懂れる存在 (ロールモデル)」の不足



約48%の子供が懂れる人を「0人または1人」と回答し、身近な手本が少ない現状があります。

## 役割別の「周りの人の数」の平均比較

